

園だより



令和4年2月1日
 社会福祉法人新田保育園
 園長 野村 陽子

ちいさな社会

先日、4歳児りす組主催のお店屋さんごっこがありました。今年はりす組の部屋が『ショッピングモール』、ホールが『温泉プール』、給食メニューはカレー&スパゲティ・ポテトサラダ・ゼリーでした。主催のりす組はポスターを作って宣伝をし、当日は店員になります。品物も作りますが、半分以上の品物は各クラスで作ったものを提供してもらう仕組みです。また、考案したメニューを実際に作るのは給食の先生たち。そしてお客さんは各クラスの子どもたちと職員です。企画・運営・発注・販売を手がけるりす組、生産者であり消費者でもある他クラスの子どもたち。ちょっとした“社会”です。

さて、生産過程から販売の様子を覗いてみましょう。子どもたちはお店屋さんに向けての制作が大好きです。自分の作ったものが店に並ぶことを考えるとワクワクするからでしょうか。こういう時に少し難しいことを取り入れると、子どもたちは意欲的に挑戦します。ハサミを使ったり、小さな穴に紐を通したりと集中して指先を動かします。また、りす組やぞう組になると、どの素材をどう使ってどのようにすれば自分の作りたいものが理想に形になるのか、試行錯誤を繰り返します。自分だけでは難しい時には、自分の考えを言葉で発信し、友だちに助けを求めることもあります。教えたり教わったり、一緒に考えたり一緒に作ったり、時には失敗したりすることもあります。けれども、こんなものがあつたらみんなが喜ぶかな、誰でも楽しめるものは何かな、付属の部品が失くならないように収納できるポケットをつけようかなど、買い手や売り手のことを考えて作る姿は、商品開発部の社員さながらです。こうして作った商品を納品する際には、使い方や魅力を一緒に伝え、店員もこれを引き継いで接客にあたります。思い合い、支え合う、人としての原点が見えました。誰が欠けても成り立たない、一人ひとりが大切にされる社会が、小さいながらも新田保育園にはあるのです。

新型コロナの影響で、行事の中止や開催方法の変更をせざるを得ない状況が続く中でのお店屋さんごっこ。当日、子どもたちの輝いた表情を見て胸がいっぱいになりました。(文責：斉藤千鶴子)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
2月			誕生会・写真の日						健診(0・1歳児)	りんご組連絡会	建国記念日			避難訓練	健康体育(3・4・5歳児)		ひよこ組連絡会	新入園児面接・健診・説明会 ことり組連絡会						はるまつり(観劇会)	りす組連絡会			

◇24日(木)のはるまつりは、子どもと職員のみ参加です。今年度は『みんなのコンサート』と題し、クラシックコンサートを鑑賞します。詳細は後日手紙を配布いたしますのでそちらをご参照ください。